

平成28年度 企画提案型協働事業
関連課事前協議チェックシート

提案者名：勇気づけサークルでこぼこピース 代表 北村倫子

提案事業名：アドラー心理学による「勇気づけコミュニケーション」のすすめ

関連課等名：市民活動推進課

班等名：市民活動支援班

担当者名：坂巻 暁子

内線等：344

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- 1 市民ニーズはある
- 2 ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

(具体的理由)

子育て世代や、子育てに関心のある方を対象とした男女共同参画啓発講座は少ないこと、また、講座実績からコミュニケーション講座に関心がある市民は多いため、ニーズはあると思われる。

(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

- 1 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

(具体的理由)

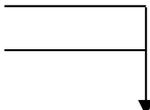
施策6-2「皆でまちを育む環境づくりを推進する」 施策の展開6-2-②「男女共同参画の推進」に該当する事業である。

(3)法令上の問題について

- 1 法令上、実施できない
- 2 部分的に問題あり
- 3 特に問題なし

(1または2の場合の具体的理由)

(4)既に実施、または類似の事業等について

- 1 既に実施している
 - ② 類似の事業等を実施している
 - 3 実施していない
- 

(1または2の場合、その事業名や内容を記入)
市民向け男女共同参画啓発講座の実施

(5)実施効果について

- 1 大きな効果が見込める
- ② 効果はある
- 3 どちらかというとな効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)
市民に向けて、新たな視点での講座の提供が可能となる。また、団体の男女共同参画に関する理解及び意識の向上につながる。

(6)実施計画、実施方法について

- ① 具体的であり、実現性・実行性は高い
- 2 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)
事業内容について、具体的な計画が立てられている。また、講座企画に関しては、団体としての活動実績もあり、その手法を取り入れたものとなっているため、実現性・実効性は高いと思われる。

(7)市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- ① 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)
男女共同参画社会の実現に向けた視点・内容を取り入れており、啓発講座として実施することが可能である。

(8) 事業費の積算について

- 1 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

協議のなかで個別の事業費について確認をしている。

(9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

市が開催する男女共同参画に関する啓発講座は、「男女共同参画」を前面に出すと難解な印象を与えてしまい参加者が定員割れすることが多いため、テーマの設定が課題となっていた。今回の「勇気づけコミュニケーションのすすめ」は、市民活動団体のノウハウが活かされている企画のなかで、固定的性別役割分担意識の解消や、一人ひとりの生き方を尊重するきっかけづくりとなることを効果として上げているが、参加者が「アドラー心理学」を学ぶだけでなく、男女共同参画の大切さを学んでいることをいかに気づいてもらえるかが課題となると思われる。この課題については、すでに提案者とも共有しており、講座準備を具体的に進めていく過程で、協議することになっている。

(10) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- 1 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかというとな取り組むべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)